

住みよい町づくりめざして
昭和61年度 一般会計予算 21億2,950万円
 町民ひとりに59万円の予算



新収入役に
 総務課長の清水太郎氏

新任のあいさつ
 総務課長の清水太郎氏
 います。歴代収入役さんの格をけがすことのないよう浅学非才は体力と努力でカバーいたします所存でございますので、此正賜りますようお願い申し上げます。あいてあいさついたします。

昭和六十一年三月三十一日付で松本収入役さんが一身上の都合で退任され、四月一日付では、収入役を拝命いたしました清水太郎でございます。

昭和六十一年十一月四日、昭和六十一年十月、瀬戸町役場奉職。生活環境課長、産業課長、教育委員会次長、総務課長を歴任。

第185回三月定例町議会が、昭和六十一年三月十日から三月二十日までの十一日間の会期で開かれ、条例の改正案、昭和六十年度補正予算案、昭和六十一年度予算案、三月三十一日付で辞職する収入役松本福雄氏の後任の収入役松本福雄氏の後任の収入役松本福雄氏を選任しました。昭和六十一年度一般会計当初予算は、二億二千九百五十万円で、前年同期比で一八・九の増。これは老朽化した大久小学校の改築、今年度からスタートする伊方原発三号機に係る電源立地促進対策交付金事業を当初に計上したことがあげられます。



▲観光開発の核… (工事中の塩成大橋)

観光資源の開発については、関係者で意欲ある後継者グループからなる調査員を構成して、シンポジウムや懇談会を開催して報告書をまとめる。また、調査員を先遣地へ派遣して現地での取り組みの状況を視察し、又指導者との懇談を通じてまちづくりの中心となるリーダーの育成、新たな特産品づくりをめざして山の幸、海の幸を利用した料理の試作などを予定している。

新規事業の紹介
 まちづくり推進事業に600万円
 活性化ビジョン、特産品開発など
 本年は、瀬戸町にとって町制施行三〇周年の記念すべき年であります。本町を取り巻く環境は、頂上線の開通、南予水の通水そして半島振興法の指定やニューメディア等今、大きく変わろうとしています。今こそ、全町民が一丸となって二十一世紀へ向けて町の活性化の道を真剣に模索し、その事を実現することが必要であります。六十一年度事業として「まちづくり推進事業(通産省の産業育成支援事業)」の指定を



主な内容

住みよい町づくりめざして、3月定例議会より	2,3,4,5 ページ
ふるさと再興	6,7 ページ
小島小学校さようなら	8 ページ
わが家のアイドル	8 ページ
119番通報システムの変更	9 ページ
生ゴミを食べる魔法のゴミバケツ	10 ページ
瀬戸の花嫁第1便発送	11 ページ
人事異動	12 ページ
国民健康保険の届出について	18 ページ
人々のうごき	14 ページ

「新たな出発」
 私たち名残惜しい
 校舎に別れを告げ
 三机小中学校で頑張
 ります!!。 関連記事は
 8 ページ

昭和61年度主な事業

(当初計上したもの)

Table listing various municipal projects and their estimated costs in yen, including road works, school construction, and social welfare programs.

簡易水道事業 主な事業

Table listing water supply projects such as water treatment and distribution, with details on volume and cost.

新年度予算二十一億二千九百五十万円の内訳をみると地方交付税が最も多く全体の四五・二%、国庫支出金一五・六%、県支出金一三・七%と歳入の大半を占めています。



となり、これは大久小学校の改革により教育費の国庫補助金が大幅に増額されました。次いで町債は地方債として事業のために借り入れるお金で二億九千三百五十万円、全体の予算額の一三・七%。

議会は、私たちの税金や水道料金の値上げ、住民票、印鑑証明の手数料の改正、町で予算をきめたり、町にとって重要なことを決定しています。昭和六十年度は、定例議会(六月、九月、十二月、三月)、四回、臨時議会(八月、十月、一月)三回の計七回開かれ、私たちには法律でこの議案を傍聴することが許されています。私たちの代表がどのような考えをもって、どのようなことを言われているか一度生の声を聞いてみてはいかがが、

国庫支出金61% 県支出金33%増額

歳入 歳入 歳入 歳入 歳入 歳入 歳入 歳入 歳入 歳入

私たちの議会

生声を聞いてみてはいかがが、声を聞いてみてはいかがが、

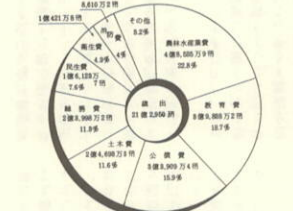
特別会計 特別会計の手当額は次のとおり。Table with columns for account name, budget, and change from previous year.

町長所信表明(要旨)

61年度の行政運営につきましては、町おこし活性化への対応を柱に進めて参りたいと考えております。国においても引き続き行政改革の厳しい状況の中で、民間活力の取り込みをしていくようでありまして、情報化と民活の時代に突入しようとしております。このような社会情勢下において本町のような経済基盤の弱い過疎地においては、増々後進性から脱却できない状況になるのではないかと危機感さえ覚えるのでありますが、幸いにして県においても南予地域の総合整備に意を払っていただき、他に先けて八西地域のニューメディア指定、又、恵まれた海域資源の活用策としての宇和海海域マリナーズ地域指定、更に皆さんと共に運動を展開して参りました半島振興法の制定と地域の指定が四国では唯一か所八幡浜、西宇和の三崎半島地域が指定される事が、決定され、61年度には振興計画を樹立し、いよいよ62年度から具体的に振興事業が実施される運びとなり、間もなく完成する国道バイパス、南予用水事業とあわせ将来は一変するであろう三崎半島に、明るい展望を持てる事は大変喜ばしいこととあります。このような広域施策の中で、本町が取り残される事なきよう、これらの施策を有効に活用し、21世紀へ向かって明るい活力ある瀬戸町を築きあげて行かなければならないと考えます。その為には過疎地には過疎地なりの活力を生み出す方策は必ずあるものと信じて、英知を結集し、ひとつひとつを具体的に着実に実行していかねばならないと考慮しております。それにはまずお互いの連帯を強化し、協調して町民全体がやる気を起こして立ち上がる意識こそが最も重要であります。行政もそれを喚起する運動を益々充実させて行かなければならないと考えます。

一般会計 目的別歳出予算 農林水産業費・教育費 土木費に大きなウエイト

歳出予算を目的別に分析してみました。トップが農林水産業費の四億八千五百三十九万九千円。歳出予算の二二・八%を占めています。これは四ツ浜(大久)漁港改修などの漁港建設費に二億六千六百万円、魚礁設置などの水産業振興費に四千二百二十四万二千円、塩成東農道新設などの農地費に七千八百三十二万一千円、ほか林業、畜産業、農業振興に使われています。



次が教育費。老朽化した大久小学校の改革に二億六千七百四十四円、スクールバス購入六百五十七万四千円計上。そのほか公民館、社会教育、学校関係などに使われます。

土木費は二億四千六百九十三万三千円で予算全体の二一・六%、瀬戸頂上線、田部中央線などの町道建設、港灣建設などに充てられます。また、そのほか町道維持補修、河川、町営住宅管理費に支出されています。公債費は三億三千九百九十四万円で予算全体の一五・九%。これは地方債として町が借り入れるお金に対する元金と利子の償還金として使われます。総務費は二億三千九百九十八万二千円で計上。今年には選挙費として参議院議員選挙、愛媛県知事選挙にあわせて三百七十七万八千円の予算が充てられます。また、まちづく



▲大久小学校建設予定地

り推進事業に六百万円、これは電源地域産業育成支援事業のモデル地域指定によるソフト事業の推進に充てられます。このほか、税務費、戸籍住民基本台帳費、ガードレール、カーブミラー、防犯灯の設置各種統計の調査費、広報せとの発行費などこの総務費に含まれています。町で毎年行っている一般健康診断やがん検診、ゴミ処理四二二一一万八千円を計上した衛生費から支出されます。民生費は一億六千二百三十七万七千円を計上。ここからは社会福祉、児童福祉、老人福祉の各種福祉事業に充てられます。主なものは、豊の広場設置、国民年金、地方改善事業、母子家庭、重度心身障害者、零歳児医療、老人生活きがい対策等の事業を行います。消防費は予算総額の八千六百二十万二千円を計上し、消防団活動のための非常備消防費に千五百五十五万七千円、第一分団車庫新築、小型ポンプ更新、消火栓工事等に充てられる消防施設費は四千九百四十九万四角が地域の消防費として使われます。議会は議員報酬など歳出予算のために四千九百五十七万四角が計上されています。



▲山と海の観光ライン(国道バイパス大久附近)

瀬戸町は、現在のきびしい現状を乗り越え若者の多いまちづくりめざして、町民総参加で取り組んでいるところであり、今年、町制施行三〇周年を迎える節目にあたり、町民皆が知恵をばり、輝ける未来に向かって挑戦して突き進まなければなりません。



町では一生のうち一番希望が豊かで進歩的な意見をもっているといわれる中学生を対象に瀬戸町の現状をどのようにとらえ、どのような将来像を描き希望しているか瀬戸町の中学生に意見・要望をお聞いしました。

全国的に、始どの生徒は現在の瀬戸町を過疎化、高齢化による後継者不足、瀬戸町の自然美、人情豊かなまちであると認めていて、そのなかでもうまく生かさない、何もかも中途半端で活気がない大変不便なところであると分析している。また、今適切な施策を構じなければ益々過疎化が進行し、さびれていくと予想しており、このままでは「町」から「村」になるのではと懸念している子どもが多い。その中には、自分も後継者として地元に残りたいが果して安定した生活が送れるかどうか心配だと深刻な問題をなげかけている。その理由として、道路事情が悪い、平地が少ない、産業基盤が弱い、生活が不便などをあげている。具体的にはまとった買い物をするスーパーマーケットがないなど、一部の意見として瀬戸町は、自然が美しく、食べ物新鮮でおいしく快適で住みよいと感じている生徒がいたことも見逃せない。そして、これらの現状を打開

する対策はとるとどの生徒も瀬戸町のすばらしい自然を生かした観光開発をとりあげている。この手段としては国道バイパスが完成しつつあるがこれに付随した道路の整備、瀬戸町の自然美を全国にアピールすることが必要条件として生ずる自然破壊を極力よけて自然汚染を防止すると共に動植物を保護してほしいと付け加えている。特にこのような考え方は女生徒に多い。次に商工業の活性化。そのためには活性化のネックとなっている平地が少ないという現状を打開するため、土地の造成をあげている生徒が多い。その造成地には、スーパーマーケット、総合病院、工場誘致、遊園地の建設を希望している。農業の振興については、農産物加工場、水産物の加工場建設をとりあげ生産、加工販売のできる総合的な産業にすることを希望している。子どもたちは、瀬戸町の過疎化の進行を懸念しつつ、将来に希望をもち町の発展を願っている。

「町」から「村」になるのではと懸念している子どもが多い。その中には、自分も後継者として地元に残りたいが果して安定した生活が送れるかどうか心配だと深刻な問題をなげかけている。その理由として、道路事情が悪い、平地が少ない、産業基盤が弱い、生活が不便などをあげている。具体的にはまとった買い物をするスーパーマーケットがないなど、一部の意見として瀬戸町は、自然が美しく、食べ物新鮮でおいしく快適で住みよいと感じている生徒がいたことも見逃せない。そして、これらの現状を打開

する対策はとるとどの生徒も瀬戸町のすばらしい自然を生かした観光開発をとりあげている。この手段としては国道バイパスが完成しつつあるがこれに付随した道路の整備、瀬戸町の自然美を全国にアピールすることが必要条件として生ずる自然破壊を極力よけて自然汚染を防止すると共に動植物を保護してほしいと付け加えている。特にこのような考え方は女生徒に多い。次に商工業の活性化。そのためには活性化のネックとなっている平地が少ないという現状を打開するため、土地の造成をあげている生徒が多い。その造成地には、スーパーマーケット、総合病院、工場誘致、遊園地の建設を希望している。農業の振興については、農産物加工場、水産物の加工場建設をとりあげ生産、加工販売のできる総合的な産業にすることを希望している。子どもたちは、瀬戸町の過疎化の進行を懸念しつつ、将来に希望をもち町の発展を願っている。

私たちは望みます すばらしい将来を (昭和六十一年三月現在)

瀬戸町の将来 三机中三年 阿部比呂志

今のままでは、この過疎化はどんどん進んでいくのではないのでしょうか。そこで、ぼくは、瀬戸町を活性化にみちた町にするための対策を考えました。その対策のうちの問題点があります。一つは、瀬戸町は、設備の整った病院がないこと、もう一つは、つり場とては、いい場所なのにつり専門の店がないことだ。まだ問題はあれど、その二つは絶対に実行しなければならぬ。その二つを実行しなければならぬかという、

一般質問(要約)

福島議員 老齢化が進む中で本町における税負担が町民の上に重税感としておしかかっているのではないかと。新しく納税される方がどのように多くなっているか。



▲一般質問にたつ福島議員

町長 町民の上に重税感が年々増しているのではないかと。ご指摘ですが、ご承知のとおり町税は地方自治法に基づき課税すること定められており、課税につきましては、国における標準税率によって課税している現状であり、自主財源確保のために町が独自に課税している訳ではございません。次に新しく納税される方がよくなる多くなっているかという点ですが、各年度の住民税納税者数から見ますと、昭和五十八年度(一六一

町長 原則的には、町基本構想の目標に向けて緊急性投資効果や地元対応等総合的に判断し、事業採択要件、財政計画、補助等の可能性を見極めながら計画執行して行きたいと考えています。

町長 町長就任時に約束した瀬戸町をよくする為の六本の柱はどのように進んでいるか。一、一九七号線バイパスの早期完成促進とそれに伴う取

付道の整備充実 二、南予用水事業の早期完成と安定した農業基盤の確立 三、地すべり対策の促進と台風風防災予防の確立 四、教育環境の整備 五、安心な余生を楽しんでもらえる老人対策 六、地形を生かした観光開発

備を進めているところであり、その他防災対策の推進、教育環境の整備、老人対策として観光開発構想等、順次手がけております。まだ具体化していないものもありますが、今後一層積極的に対応して参りたいと考えております。改革的な海洋開発とも言えるこの構想につきましては、この構想の研究と推進を目的として佐田半島から高知県境までの宇和海沿岸市町村(二市一町一村)とこの地域の関係漁協(二十九組合)が構成員となって「宇和海マリノベーション研究協議会」が発足致しました。早速同日に国に対してこの構想の調査の実施を陳情しました。一方県の方でも十二月にこの構想を進める上でアンケート調査を実施する等しており、本町に致しましては積極的に実施に向けて協力し要望して参りたいと存じます。

町長 同法の地域指定につきましては当佐田半島地区を含めて全国十九ヶ所がある三月三十一日の官報告示をもって正式決定される見込みであり、この決定を受けて六十二年度には県が関係市町村と協議して半島振興計画を作成することに

昭和61年3月分
末長くお幸せに

人々のうごき

3月末現在	
世帯数	1,324戸
人口	8,588人
男	1,647人
女	1,936人
本籍数	4,424戸
本籍人口	15,006人

お礼

せと広報発送費用にとご寄付をいただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

☆大阪府柏原市旭ヶ丘 林 正江さん
☆風景写真町横河原 国立職業所受検病院 加藤ツタ子さん

お誕生おめでとう
おこゆみ

ゆうちゃんだより

似顔絵コンクール開催される

瀬戸・大久保便所では次代を担う子供達の親や兄弟・友人などに対する敬愛・友愛精神の高揚を図り、情操教育の一助とするため、「第1回 簡易保険・郵便年金似顔絵コンクール」を8月1日～8月20日の募集期間で開催しましたところ、多数の応募がありました。お礼を申し上げます。

計量器定期検査のお知らせ

計量法の規定により、下記日程により計量器の定期検査を行いますから、取引証明に使用する計量器は必ず検査を受けて下さい。

- 検査日時・場所
 - 日時 5月21日 午前10時から12時まで
場所 瀬戸町中央公民館
 - 日時 5月21日 午後1時から3時まで
場所 瀬戸町役場 四ツ矢支所
- 検査を受けなければならない計量器
「はかり」「自動ます」「皮革面計」
- 定期検査手数料
100円から2,150円の範囲内
- 届け出
疾病、旅行その他やむを得ない事由により日割表の期限内に検査を受けることのできない場合は市町村役場又は県計量検査所(松山市一番町黒川内)に届け出て下さい。
- 定期検査に代る検査
定期検査日割表の期限内に検査を受けられないことを届け出た計量器については、別に指定する期日に検査を行います。この場合は定期検査手数料の外に検査に必要な経費を弁償しなければなりません。
- 罰則
定期検査を受けずに計量器を取引証明に使用した場合は5万円以下の罰金に処せられます。
- その他
大悪ばかり等で指定検査場へ持参できない場合は事前に市町村役場又は県計量検査所(松山市一番町黒川内)にご相談下さい。

編集日記

この車会館では国ご字りのがたく高く登る町だ美で生での全道んど東移同段を々に下項し三し走活あ美園がなにおへ能動々見が九に上二月さたに「いもの光ハ西取点」は登の戸開九見と開自数頂明イへ付々登頂で山内西が日せき通然然少上順りと道との上き々街に開園あ感で知私い志自で頂づくで「瀬戸の海」パイはめいのろこ有る。で人集き「海」パイも然て都対うろし、「文登々落れ近の遊ス島九

人事異動

四月一日付で役場の人事異動が発令されました。異動は大きな配置替えもなく例年より小規模。新しい職員体制になりましたのでお知らせします。同事にもお気軽にご相談ください。お待ちしております。

職員体制

〇印は四月一日付昇格者

▼議会事務局
 局長 松本 幸久
 主事 亀井 直美

▼総務課
 課長 〇宮下 寛
 課長補佐 鈴木代士彦
 主事 森田 洋一
 主事 森口又兵衛
 主任 藤岡 昭一
 主事 近田 三郎
 主事 佐々木利王
 主事 井上 一二
 主事 山本 幸二
 主事 坂本 明仁
 主事 市川 新一
 主事 伊勢家 昭
 主事 水本千代子
 主事 佐野 武子
 主事 村上タニコ

▼町民課
 課長 河野 修彦
 課長補佐 藤本 伸一
 主任 井上 良果
 主事 〇三好 正弘
 主事 〇石崎 和彦
 主事 井岡 正明
 主事 中野 寿志
 主事 〇大塚 貴尚
 主事 〇大塚 希典
 主事 久保 智春
 主事 上田 千恵

▼三机保育園
 園長 〇阿部キヨミ
 主任 佐々木香恵
 主事 中田 節子

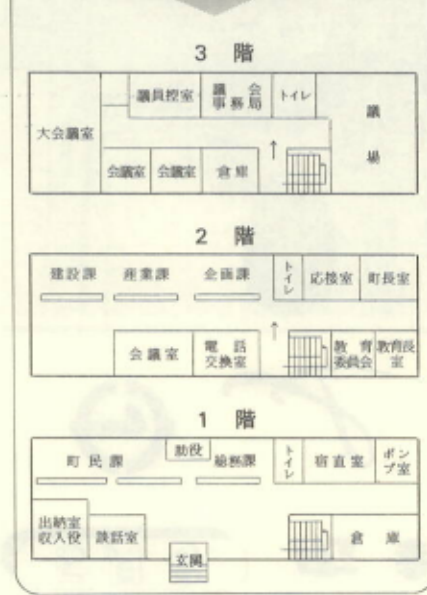
▼遠成保育園
 園長 阿部キヨミ
 主任 福山 王子
 主任 阿部 康子

▼大久保保育園
 園長 浜本スミ子
 主任 毛利 敏子
 主任 大久保ツツコ
 主任 山本 昌美
 主任 高井 美穂子

▼川之浜保育園
 園長 洪津チヨ子
 主任 清水 啓子
 主任 福島 敬美
 主任 保母 中里 米子

▼大久保診療所
 所長 福田 保則

役場各課配置図



▼建設課
 課長 清水 博義
 課長補佐 松田 法子
 主事 宮本 大塚
 主事 三好 賢明
 主事 大塚 伸亮

▼産業課
 課長 中野 寿志
 課長補佐 小川 利明
 主事 三好 賢明
 主事 宮本 大塚

▼企画課
 課長 井上 善一
 課長補佐 山下 裕吉
 主事 小川 利明
 主事 三好 賢明

▼監査
 課長 阿部 康子
 主事 宮本 大塚

▼町民課
 課長 河野 修彦
 課長補佐 藤本 伸一
 主任 井上 良果
 主事 〇三好 正弘
 主事 〇石崎 和彦
 主事 井岡 正明
 主事 中野 寿志
 主事 〇大塚 貴尚
 主事 〇大塚 希典
 主事 久保 智春
 主事 上田 千恵

▼農林委員会
 委員長 阿部 康子
 委員 上村 博康

▼教育委員会
 委員長 水野 都夫
 委員 大野 金太郎
 委員 富永 正司
 委員 小野 隆博

▼社会福祉協議会
 理事長 白石 信子
 理事 〇三好 正弘
 理事 水野 都夫
 理事 大野 金太郎
 理事 富永 正司

▼建設課
 課長 清水 博義
 課長補佐 松田 法子
 主事 宮本 大塚
 主事 三好 賢明
 主事 大塚 伸亮

▼三机保育園
 園長 〇阿部キヨミ
 主任 佐々木香恵
 主事 中田 節子

▼遠成保育園
 園長 阿部キヨミ
 主任 福山 王子
 主任 阿部 康子

▼大久保保育園
 園長 浜本スミ子
 主任 毛利 敏子
 主任 大久保ツツコ
 主任 山本 昌美
 主任 高井 美穂子

▼川之浜保育園
 園長 洪津チヨ子
 主任 清水 啓子
 主任 福島 敬美
 主任 保母 中里 米子

▼大久保診療所
 所長 福田 保則

▼町民課
 課長 河野 修彦
 課長補佐 藤本 伸一
 主任 井上 良果
 主事 〇三好 正弘
 主事 〇石崎 和彦
 主事 井岡 正明
 主事 中野 寿志
 主事 〇大塚 貴尚
 主事 〇大塚 希典
 主事 久保 智春
 主事 上田 千恵

▼三机保育園
 園長 〇阿部キヨミ
 主任 佐々木香恵
 主事 中田 節子

▼遠成保育園
 園長 阿部キヨミ
 主任 福山 王子
 主任 阿部 康子

▼大久保保育園
 園長 浜本スミ子
 主任 毛利 敏子
 主任 大久保ツツコ
 主任 山本 昌美
 主任 高井 美穂子

▼川之浜保育園
 園長 洪津チヨ子
 主任 清水 啓子
 主任 福島 敬美
 主任 保母 中里 米子

▼大久保診療所
 所長 福田 保則

▼農林委員会
 委員長 阿部 康子
 委員 上村 博康

▼教育委員会
 委員長 水野 都夫
 委員 大野 金太郎
 委員 富永 正司
 委員 小野 隆博

▼社会福祉協議会
 理事長 白石 信子
 理事 〇三好 正弘
 理事 水野 都夫
 理事 大野 金太郎
 理事 富永 正司

▼建設課
 課長 清水 博義
 課長補佐 松田 法子
 主事 宮本 大塚
 主事 三好 賢明
 主事 大塚 伸亮

▼三机保育園
 園長 〇阿部キヨミ
 主任 佐々木香恵
 主事 中田 節子

▼遠成保育園
 園長 阿部キヨミ
 主任 福山 王子
 主任 阿部 康子

▼大久保保育園
 園長 浜本スミ子
 主任 毛利 敏子
 主任 大久保ツツコ
 主任 山本 昌美
 主任 高井 美穂子

▼川之浜保育園
 園長 洪津チヨ子
 主任 清水 啓子
 主任 福島 敬美
 主任 保母 中里 米子

▼大久保診療所
 所長 福田 保則

▼町民課
 課長 河野 修彦
 課長補佐 藤本 伸一
 主任 井上 良果
 主事 〇三好 正弘
 主事 〇石崎 和彦
 主事 井岡 正明
 主事 中野 寿志
 主事 〇大塚 貴尚
 主事 〇大塚 希典
 主事 久保 智春
 主事 上田 千恵

▼三机保育園
 園長 〇阿部キヨミ
 主任 佐々木香恵
 主事 中田 節子

▼遠成保育園
 園長 阿部キヨミ
 主任 福山 王子
 主任 阿部 康子

▼大久保保育園
 園長 浜本スミ子
 主任 毛利 敏子
 主任 大久保ツツコ
 主任 山本 昌美
 主任 高井 美穂子

▼川之浜保育園
 園長 洪津チヨ子
 主任 清水 啓子
 主任 福島 敬美
 主任 保母 中里 米子

▼大久保診療所
 所長 福田 保則

▼農林委員会
 委員長 阿部 康子
 委員 上村 博康

▼教育委員会
 委員長 水野 都夫
 委員 大野 金太郎
 委員 富永 正司
 委員 小野 隆博

▼社会福祉協議会
 理事長 白石 信子
 理事 〇三好 正弘
 理事 水野 都夫
 理事 大野 金太郎
 理事 富永 正司